

Business Report

第26期 株主通信

平成22年4月1日～平成23年3月31日

ホームページのご案内

ホームページでは最新のIR情報をご覧いただけます。
株主通信に関するご意見・ご感想もお待ちしております。



<http://www.holon-ltd.co.jp/>

HOLON 株式会社 **ホロン**

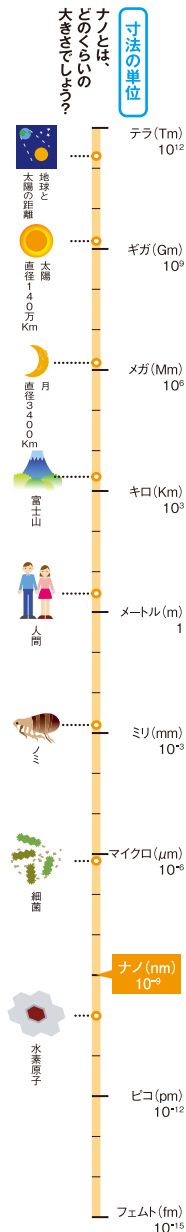
〒359-0011 埼玉県所沢市南永井1026-1

TEL 04-2945-2951 FAX 04-2945-2962

(JASDAQ:7748)



HOLON
株式会社 **ホロン**



ホロンのものさしはナノメートル。 見えない世界を測ります。



代表取締役社長 穴澤 紀道

平素より私どもへの格別なご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

このたびの大震災はわが国の企業環境を一変

させております。直接被害を受けた企業はもとより計画停電によって東北関東の多くの工場が影響を受けております。特に当社が係わる半導体産業への影響は甚大なものになると思われます。

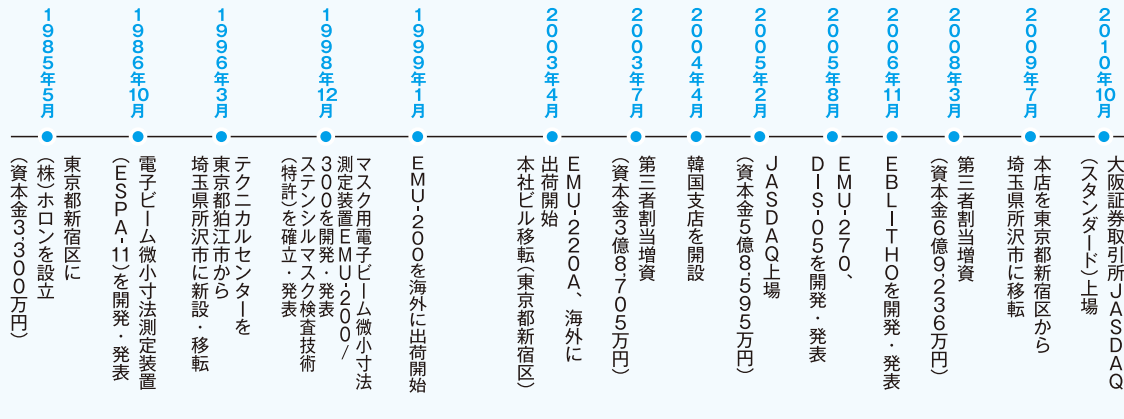
しかし、ここで日本の技術競争力を失ってしまうことのないよう一刻も早い復旧へ努力しなければなりません。この厳しい環境はかなり長期にわたると覚悟し、環境に対応した設備補強や勤務時間の変更など柔軟な生産体制をとる必要があると考えております。

当社の業績は、一昨年度達成した黒字化を残念ながら昨年度は維持できませんでした。これはお客様の購入計画の繰り延べなどによる売上目標の未達と急激な円高の影響によるものです。しかし、販売予定の新機種は、やや開発の遅れはありましたものの目標の高性能を実現しており、今後の売上が期待されます。

ホロンは長年にわたりCD-SEMに特化して事業を進めてまいりました。しかしながら、業績の安定化とさらなる拡大を図るために新技術の開発が欠かせません。一昨年よりNEDO助成事業で進めておりました新技術開発は、昨年度大きな進歩が見られ新技術の結実に向けて確実な一歩を踏み出したと考えております。これは必ずや本年度以降の業績に寄与するものと確信しております。

株主の皆様には、引き続きより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

HISTORY



当期の概況

当期におけるわが国経済は、中国など新興国の経済成長に支えられた輸出拡大から企業収益に改善傾向がみられましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災により国内経済に及ぼす影響は計り知れず、先行きの見通せない状況となっております。

半導体業界におきましても、高性能携帯電話（スマートフォン）などデジタル家電に使用する半導体需要の高まりを受け回復傾向にありましたが、東北、関東地域の半導体工場はこの震災により大きな影響を受け、先行き不透明感が続いております。

このような状況のもと、当社の主力製品であるマスクCD-SEMにつきましては、従来機種「EMU-270A」をバージョンアップした「Z7」を平成22年11月に売上げ、第4四半期にも販売を計画しておりましたが、顧客におきまして設備投資の抑制をより慎重にする動きがあり、予定していた受注には至らず売上計画を達成することができませんでした。

一方、微細パターン転写装置である電子スタンプ「EBLITHO」につきましては、その技術を進化させたシームレスモールドステッパー開発（NEDOのイノベーション実用化助成事業）の継続とロールモールド評価用SEMの開発は、平成23年2月、nano tech 2011国際ナノテクノロジー

総合展・技術会議においてその技術が評価され、「微細加工技術部門賞」を受賞しました。装置の商品化も進み次期以降の販売に向けて販促活動を開始しております。

上記の結果、当期の売上高は538百万円（前期比53.2%減）となりました。損益につきまして、製造コストの低減に努めてまいりましたが、売上高の減少による影響が大きいことから営業損失11百万円（前期営業利益30百万円）、また、為替差損25百万円等を営業外費用に計上した結果、経常損失40百万円（前期経常利益41百万円）、当期純損失は37百万円（前期当期純利益39百万円）となりました。

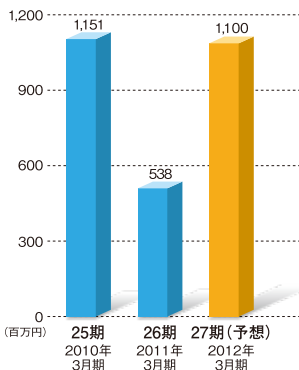
次期の業績予想

次期の見通しにつきまして、国内経済は東日本大震災による影響が計り知れず、今後、電力不足の影響も懸念されております。このような事業環境のなか、当社は設備補強や勤務時間の変更など柔軟な生産体制をとりながら、バージョンアップに成功したマスクCD-SEMの販売活動強化と新規商品開発に取り組み、業績の拡大と収益向上に努めたいと考えております。

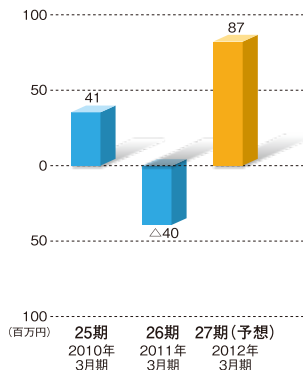
次期の業績予想につきましては、売上高1,100百万円、営業利益92百万円、経常利益87百万円、当期純利益85百万円を見込んでおります。

業績ハイライト

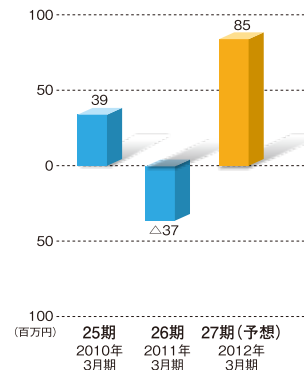
■売上高



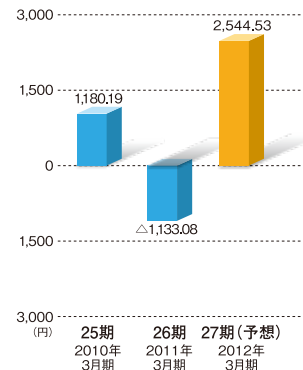
■経常利益



■当期純利益



■1株当たり当期純利益



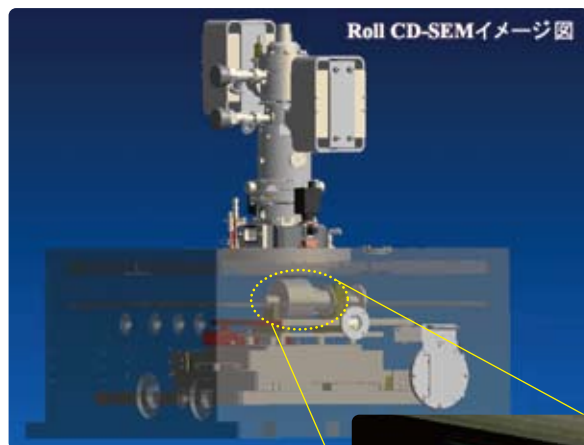
nano tech 2011 国際ナノテクノロジー 総合展・技術会議に出展

2011年2月16日(水)～18日(金)に東京ビッグサイトで開催された「nano tech 2011国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に出展しました。

ナノテクとは、ナノ(10億分の1)メートルの世界で物質を自在に扱う技術のことで、より優れたものづくりを可能にする現在最も活発な科学技術研究分野のひとつです。

ホロンは、世界初となるロール用SEMの製作に成功し、「低真空 Roll mold CD-SEM」を出展しました。

低真空 Roll mold CD-SEM



ナノテク展は第10回目の開催を迎え、638の企業と754の団体がナノテク技術・製品を出展し、46,502人の来場者が商談や市場動向の情報収集に訪れました。



nano tech大賞2011 微細加工技術部門賞を受賞



表彰の様子 穴澤社長(右)

受賞理由

「フレキシブルエレクトロニクスなどの部材生産に用いる高速ロールプリントプロセス用ロールモールドの表面に形成した微細パターンを観測・計測できる電子顕微鏡を世界で初めて開発した点を賞す。」

ロールモールドの観測・計測が可能な電子顕微鏡を実現できたことで、今後半導体業界と同様に微細加工装置と検査・測定装置の量産化発展が期待されます。



nano tech受賞盾

財務諸表(要旨) (単位:百万円、単位未満切捨て)

貸借対照表

科 目	前期(25期)	当期(26期)
	平成22年3月31日現在	平成23年3月31日現在
資産の部		
流動資産	900	799
現金及び預金	119	107
受取手形	6	0
売掛金	421	65
その他	353	625
固定資産	124	111
有形固定資産	87	82
無形固定資産	5	3
投資その他の資産	32	25
資産合計	1,025	910
負債の部		
流動負債	475	325
固定負債	68	142
負債合計	544	468
純資産の部		
株主資本	480	442
資本金	692	692
資本剰余金	635	635
利益剰余金	△847	△885
純資産合計	480	442
負債純資産合計	1,025	910

損益計算書

科 目	前期(25期)	当期(26期)
	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
売上高	1,151	538
売上原価	702	219
売上総利益又は売上総損失(△)	449	318
販売費及び一般管理費	418	330
営業利益又は営業損失(△)	30	△11
営業外収益	14	0
営業外費用	3	28
経常利益又は経常損失(△)	41	△40
特別利益	—	5
特別損失	—	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	41	△35
法人税、住民税及び事業税	2	2
当期純利益又は当期純損失(△)	39	△37

キャッシュ・フロー計算書

科 目	前期(25期)	当期(26期)
	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	33	△78
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1
現金及び現金同等物の増減額	△88	△11
現金及び現金同等物の期首残高	208	119
現金及び現金同等物の期末残高	119	107

株式の状況

平成23年3月31日現在

発行可能株式総数	102,000株
発行済株式総数	33,405株
株主数	2,372名

■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エー・アンド・デイ	10,216	30.58
富加津 好夫	4,415	13.21
新田 純	830	2.48
嶋崎 勝次	550	1.64
生江 隆男	500	1.49
東風海運株式会社	492	1.47
崎山 武美	464	1.38

役員

平成23年6月28日現在

代表取締役社長	穴澤 紀道
常務取締役	新田 純
取締役	加藤 邦彦
取締役	大島 道夫
取締役	張 皓
取締役相談役	富加津 好夫
取締役	古川 陽
常勤監査役	柳原 香織
監査役	有賀 益千代
監査役	三澤 順一

※取締役 古川陽は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※監査役 有賀益千代及び三澤順一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会社概要

平成23年3月31日現在

会社名	株式会社ホロン(HOLON CO.,LTD.)
所在地	〒359-0011 埼玉県所沢市南永井1026-1 TEL: 04-2945-2951(代) FAX: 04-2945-2962
設立	昭和60年5月
資本金	6億9,236万円
代表者	穴澤 紀道
従業員数	44名
事業内容	半導体検査装置の開発、製造、 販売、保守サービス

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
売買単位	1株
株主名簿管理人	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) TEL:0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の 全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

■住所変更、株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
 口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。